

※ 募集要項の請求方法

募集要項の請求は、大学宛封筒の表に「医歯学総合研究科口腔生命科学専攻【博士課程】募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒を以下の請求先に郵送して請求してください。

返信用封筒

標準角形2号（33 cm×24 cm）に240円（速達の場合は510円）分の切手をはり、配達先の郵便番号・住所・氏名を明記したもの。

請 求 先

〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地
新潟大学医歯学系歯学部事務室学務係
電話 025-227-2798

平成25年度（平成25年10月入学）
平成26年度（平成26年4月入学）

新潟大学大学院医歯学総合研究科

【博士課程】

学生募集要項

（ 一 般 入 試 ）
社 会 人 特 別 入 試
外 国 人 留 学 生 特 別 入 試

新潟大学大学院医歯学総合研究科

☆ 入試日程

	平成 25 年 10 月入学	平成 26 年 4 月入学 ＜第 1 次募集＞
資格審査申請期限 (該当者のみ)	平成 25 年 6 月 28 日(金)【必着】	平成 25 年 6 月 28 日(金)【必着】
出願期間	平成 25 年 7 月 22 日(月)～7 月 25 日(木) 【必着】	平成 25 年 7 月 22 日(月)～7 月 25 日(木) 【必着】
試験日	平成 25 年 8 月 20 日(火)	平成 25 年 8 月 20 日(火)
合格発表	平成 25 年 9 月 12 日(木)	平成 25 年 9 月 12 日(木)
入学手続	平成 25 年 9 月 18 日(水)～9 月 19 日(木)	平成 26 年 2 月 28 日(金)～3 月 4 日(火)

	平成 26 年 4 月入学 ＜第 2 次募集＞	平成 26 年 4 月入学 ＜第 3 次募集＞
資格審査申請期限 (該当者のみ)	平成 25 年 10 月 24 日(木)【必着】	平成 25 年 12 月 20 日(金)【必着】
出願期間	平成 25 年 11 月 11 日(月)～11 月 14 日(木) 【必着】	平成 26 年 1 月 14 日(火)～1 月 16 日(木) 【必着】
試験日	平成 25 年 12 月 12 日(木)	平成 26 年 2 月 6 日(木)
合格発表	平成 26 年 1 月 10 日(金)	平成 26 年 3 月 13 日(木)
入学手続	平成 26 年 2 月 28 日(金)～3 月 4 日(火)	平成 26 年 3 月 24 日(月)～3 月 25 日(火)

目 次

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

I. 平成 25 年度（平成 25 年 10 月入学）入試

○ 一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試	
1. 募集人員	1
2. 出願資格	2
3. 出願期間及び出願書類等提出先	3
4. 出願書類等	4
5. 入学者の選抜方法等	6
6. 試験場	7
7. 合格者の発表及び入学手続	8
8. 授業料	8
9. その他	8

II. 平成 26 年度（平成 26 年 4 月入学）入試

○ 一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試	
1. 募集人員	9
2. 出願資格	10
3. 出願期間及び出願書類等提出先	11
4. 出願書類等	12
5. 入学者の選抜方法等	14
6. 試験場	15
7. 合格者の発表及び入学手続	16
8. 授業料	16
9. その他	17

III. 出願資格の確認	19
--------------	----

IV. 本研究科所定用紙（出願書類等）

V. 新潟大学大学院医歯学総合研究科入学案内	23
------------------------	----

☆問い合わせ先

・分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻
〒951-8510 新潟市中央区旭町通 1 番町 757 番地
新潟大学医歯学系総務課医学科学務係
TEL 025-227-2017

・口腔生命科学専攻
〒951-8514 新潟市中央区学校町通 2 番町 5274 番地
新潟大学医歯学系歯学部事務室学務係
TEL 025-227-2798・2799

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

教育理念・目標

理念

生命科学や技術の著しい進歩, 21 世紀の医療課題と多様化するニーズに対応するため, 先端的生命科学についての教育・研究に重点を置くとともに, その成果を医療の進展に生かす探索型医療研究を推進し, 地域社会と世界の医療に貢献することを理念とします。

目標

1. 先端生命科学を担う研究者の育成を図ります。
2. 疾病の診断・治療に役立つ探索型医療研究者の育成を図ります。
3. 高度医療・保健指導を担当できる専門職業人の育成を図ります。
4. 社会人入学制度及び放送大学と連携し, 境界型生涯教育を充実・普及させます。

特色

1. 学際的教育・研究の推進
2. 多様な医療課題への柔軟な対応
3. 戦略的プロジェクト研究制度の導入
4. 生涯教育の充実
5. 魅力ある教員の起用

求める学生像

1. 医学・歯学・医療の分野で, 研究者あるいは高度専門職業人として社会に貢献できる人
2. 自ら研究課題を開拓し, 独創的な研究を遂行したい人
3. 探索型研究による成果をもとにアジア地域及び世界の医療に貢献できる人

入学者選抜方針

志望する教育研究分野の専門科目に対する高い理解度を持ち, 研究に必要な語学力を有する人を選抜します。

I. 平成 25 年度（平成 25 年 10 月入学）入試

一 般 入 試

社 会 人 特 別 入 試

外 国 人 留 学 生 特 別 入 試

○ 平成 25 年度新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程（平成 25 年 10 月入学）の学生を、次のとおり募集します。

1. 募 集 人 員

専 攻	大 講 座	募集人員	備 考
分子細胞医学専攻	遺 伝 子 制 御	若干人	募集人員の中には、一般入試、本学大学院の博士前期課程若しくは修士課程からの進学者、社会人特別入試及び外国人留学生特別入試を含みます。
	シグナル伝達		
	細 胞 機 能		
	分子情報医学		
生体機能調節医学専攻	内部環境医学	若干人	
	器官制御医学		
	機能再建医学		
	感覚統合医学		
	腎 科 学		
	可塑性機能制御		
地域疾病制御医学専攻	国際感染医学	若干人	
	地域予防医学		
	総合医療評価学		
口腔生命科学専攻	口腔健康科学	若干人	
	摂食環境制御学		
	顎顔面再建学		

(注) 出願に際しては、あらかじめ志望する教育研究分野の指導教員に問い合わせてください。問い合わせ先の電話番号、Eメールアドレスは入学案内（23 ページ以降）を参照してください。

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者。

なお、社会人特別入試については、本大学院医歯学総合研究科入学時に既に就業しているか、又は入学後に就業することが見込まれる者で、入学後も引き続き職業を有し、次の各号のいずれかに該当するもの。

また、外国人留学生特別入試については、日本の国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するもの。

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者及び平成 25 年 9 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者（医学、歯学又は獣医学を履修した者に限る。）及び平成 25 年 9 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 18 年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び平成 25 年 9 月までに修了見込みの者（20 ページ参照）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び平成 25 年 9 月までに修了見込みの者（20 ページ参照）
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 25 年 9 月までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（3 ページの注を参照）
- (7) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院（医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程（当該課程に係る研究科の基礎となる学部の修業年限が 6 年であるものに限る。）又は獣医学を履修する博士課程に限る。）に入学した者であって、当該者をその後に本学の医歯学総合研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの（21 ページ参照）
- (8) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を平成 25 年 9 月までに 4 年以上在学した者で、又は外国において学校教育における 16 年の課程（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了若しくは平成 25 年 9 月までに修了見込みの者で、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの（22 ページ参照）
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 25 年 9 月 30 日までに 24 歳に達するもの（22 ページ参照）

注 「2. 出願資格（6）」の「文部科学大臣の指定した者」とは、次のいずれかに該当するものです。

- ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ② 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
- ③ 修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で本研究科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの（20ページ参照）
- ④ 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの（21ページ参照）

※ 「2. 出願資格の(3), (4)及び(6)～(9)」に該当する者については、あらかじめ出願資格の確認を行いますので、19ページの「Ⅲ. 出願資格の確認」に従って確認を受けてください。

ただし、「2. 出願資格（6）」の注①又は②に該当する者は、出願資格の確認は必要ありません。

3. 出願期間及び出願書類等提出先

(1) 出願期間

平成25年7月22日（月）から7月25日（木）まで（必着）

持参する場合の受付時間は、午前8時30分から午後5時までとします。

郵送する場合は、必ず「書留速達」としてください。

(2) 出願書類等提出先

- 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻
〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医歯学系総務課医学科学務係
電話 (025)227-2017
- 口腔生命科学専攻
〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地
新潟大学医歯学系歯学部事務室学務係
電話 (025)227-2798・2799

4. 出願書類等

志願者は、下記の出願書類等を取りそろえ、出願期間中に直接持参又は書留速達郵便にて郵送してください。

(1) 全員が提出するもの

出願書類等	摘 要
・入学志願票 ①・受験票 ・写真票	<p>本要項に添付の所定用紙を使用してください。</p> <p>記入にあたっては志願票記載の注意事項に留意してください。</p> <p>なお、「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実にはってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>
② 検 定 料 30,000 円	<p>本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。</p> <p>なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。</p> <p>① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>② 検定料の振込みは、平成 25 年 7 月 16 日（火）から 7 月 25 日（木）[15 時 00 分] までの期間内に必ず行ってください。（※土・日曜日の振込みは、できません。）</p> <p>③ ATM（現金自動預入払機）での振込みはできません。</p>
③ 検定料納付証明書（新潟大学提出用）	<p>金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を志願票の所定欄にはってください。</p> <p>（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>
④ 卒業（見込）証明書又は学位授与証明書	<p>出身大学の学長（学部長）又は出身学校の学校長が作成したものとします。ただし、学位記（卒業証書）の写しで代えることができます。</p> <p>本学医学部及び歯学部卒業（見込み）者は、提出する必要はありません。</p> <p>出願資格(2)に該当する者は、学位授与証明書を提出してください。</p>

<p>⑤ 返信用封筒 3枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学試験関係書類在中 ・合格通知書在中 ・入学手続書類在中 	<p>本要項に添付の返信用封筒3枚を提出してください。</p> <p>封筒の表には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。</p> <p>「入学試験関係書類在中」封筒には郵便切手360円分をはってください。</p> <p>「合格通知書在中」封筒及び「入学手続書類在中」封筒には郵便切手をはる必要はありません。</p>
--	--

(2) 該当する者が提出するもの

(なお、出願資格確認の際に提出した書類については、再度提出する必要はありません。)

<p>⑥ 大学院修士課程 修了(見込)証明書</p>	<p>大学院研究科修士課程修了(見込み)者のみ提出してください。</p> <p>出身大学院の研究科長が作成したものとし、ただし、学位記の写しで代えることができます。</p>
<p>⑦ 大学院修士課程 成績証明書</p>	<p>大学院研究科修士課程修了(見込み)者のみ提出してください。</p>
<p>⑧ 研究概要 (社会人特別入試 出願者のみ)</p>	<p>大学卒業後に行った医学又は歯学に関する研究があれば、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。(様式は適宜)</p> <p>※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。</p>
<p>⑨ 臨床経験概要 (社会人特別入試 出願者のみ)</p>	<p>大学卒業後の臨床経験がある者は、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。(様式は適宜)</p> <p>※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。</p>
<p>⑩ 受験承諾書 (社会人特別入試 出願者のみ)</p>	<p>出願時に在職中の者は、本要項に添付の様式による書面に、所属長の公印で承諾されたものを提出してください。</p>
<p>⑪ 住民票 (外国人留学生特 別入試出願者のみ)</p>	<p>市区町村長が発行する、在留資格が記載されたものを提出してください。できない場合は、旅券(パスポート)の写しを提出してください。</p>
<p>⑫ 戸籍謄本等 (外国人留学生特 別入試出願者のみ)</p>	<p>出身国の公的機関が発行する戸籍謄本若しくは市民籍等居住証明書又は旅券(パスポート)の写しを提出してください。</p>

5. 入学者の選抜方法等

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）及び出願書類等により行います。
入学者選抜の判定は、当該試験等の結果を総合して行います。

(1) 一般入試

学力検査の日時及び試験内容

○ 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
平成 25 年 8 月 20 日(火)	10:00～11:15	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
	13:00～14:30	専 門 科 目 （第一志望の教育研究分野から出題）
	15:00～16:30	専 門 科 目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1）希望により，平成8年以降，新潟大学大学院医学研究科外国語試験（英語）合格者については，上記外国語（英語）を免除します。免除を希望する者は，出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2）専門科目の試験方法は，①筆記，②口述，③筆記及び口述，のいずれか1つになります。

注3）辞書については，電子辞書及び医学辞書（辞典）は不可とします。

○ 口腔生命科学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
平成 25 年 8 月 20 日(火)	13:00～14:30	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
	15:00～	口 述 試 験 （志願する教育研究分野から出題）

注）辞書については，電子辞書，医学辞書（辞典）及び歯学辞書（辞典）は不可とします。

(2) 社会人特別入試

学力検査の日時及び試験内容

○ 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
平成 25 年 8 月 20 日(火)	10:00～11:15	小 論 文
	13:00～15:00	口 述 試 験 （志願する教育研究分野を中心とし，併せて外国語の学力も試験します。）

○ 口腔生命科学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
平成 25 年 8 月 20 日(火)	13:00～15:00	口 述 試 験 (志願する教育研究分野を中心とし、併せて外国語の学力も試験します。)

(3) 外国人留学生特別入試

学力検査の日時及び試験内容

○ 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
平成 25 年 8 月 20 日(火)	10:00～11:15	外国語（英語） (辞書持ち込み可)
	11:30～12:45	外国語（日本語）
	13:00～14:30	専 門 科 目 (第一志望の教育研究分野から出題)
	15:00～16:30	専 門 科 目 (第二志望の教育研究分野から出題)

注 1) 専門科目の試験方法は，①筆記，②口述，③筆記及び口述，のいずれか 1 つになります。

注 2) 辞書については，電子辞書及び医学辞書（辞典）は不可とします。

○ 口腔生命科学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
平成 25 年 8 月 20 日(火)	13:00～15:00	口 述 試 験 (志願する教育研究分野を中心とし、併せて外国語の学力も試験します。)

6. 試 験 場

○ 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻
新潟大学医学部 (新潟市中央区旭町通 1 番町 757 番地)

○ 口腔生命科学専攻
新潟大学歯学部 (新潟市中央区学校町通 2 番町 5274 番地)

7. 合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者の発表

- 分子細胞医学専攻, 生体機能調節医学専攻, 地域疾病制御医学専攻
平成 25 年 9 月 12 日 (木) 午前 10 時 医学科受付前

- 口腔生命科学専攻
平成 25 年 9 月 12 日 (木) 午前 10 時 歯学部正面玄関前

上記日時に合格者の受験番号を掲示により発表します。

また, 発表と同時に, 合格者へは郵送により合格通知書等を送付します。

なお, 可否に関する電話等による問い合わせには, 一切応じません。

(2) 入学手続

入学手続の概要は, 次のとおりです。詳細については, 合格者に別途通知します。

① 入学手続期間

平成 25 年 9 月 18 日 (水) から 9 月 19 日 (木) まで (必着)

② 入学に要する経費

- 入 学 料 **282,000 円(予定額)**

(注 1) 入学料免除希望者は, 入学手続時に入学料を納付しないでください。

(注 2) 入学料等, 10 万円を超える現金を振込む際には, 金融機関の窓口において, 振込みを行う者の本人確認書類 (運転免許証, 健康保険証, パスポート, 在留カード等) の提示が必要となります。本人確認書類の提示がない場合には, 現金による振込みができませんので, 注意してください。

8. 授業料

年額 535,800 円(前期分 267,900 円, 後期分 267,900 円) [予定額]

(注 1) 授業料は, 入学後, 口座引き落としにより納入していただく予定です。

(注 2) 授業料の納入方法の詳細については, 合格者に別途通知します。

(注 3) 在学中に授業料改定が行われた場合には, 改定時から新授業料が適用されます。

9. その他

出願書類等提出後は, 記載事項の変更は認めません。

また, 既納の検定料及び提出された出願書類等は返還しません。

ただし, 検定料振込み後, 出願期間内に出願書類等を提出しなかった場合は, 当該検定料 (30,000 円) を返還します。

詳細は, 本学ホームページ (<http://www.niigata-u.ac.jp/>) の「入学を希望するみなさんへ」→「納付済検定料返還手続」を参照して下さい。

なお, 請求書の郵送を希望される方は, 財務部資産管理課支出係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 番地
新潟大学財務部資産管理課支出係
電話 (025) 262-6054

Ⅱ. 平成 26 年度（平成 26 年 4 月入学）入試

（第 1 次募集・第 2 次募集・第 3 次募集）

一 般 入 試

社 会 人 特 別 入 試

外 国 人 留 学 生 特 別 入 試

○ 平成 26 年度新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程（平成 26 年 4 月入学）の学生を、次のとおり募集します。

1. 募 集 人 員

専 攻	大 講 座	募集人員	備 考
分子細胞医学専攻	遺 伝 子 制 御	22人	第1次募集，第2次募集及び第3次募集をあわせた募集人員です。 募集人員の中には，一般入試，社会人特別入試，外国人留学生特別入試及び本学大学院の博士前期課程若しくは修士課程からの進学者を含みます。
	シグナル伝達		
	細 胞 機 能		
	分子情報医学		
生体機能調節医学専攻	内部環境医学	37人	
	器官制御医学		
	機能再建医学		
	感覚統合医学		
	腎 科 学		
	可塑性機能制御		
地域疾病制御医学専攻	国際感染医学	14人	
	地域予防医学		
	総合医療評価学		
口腔生命科学専攻	口腔健康科学	28人	
	摂食環境制御学		
	顎顔面再建学		
計		101人	

(注) 出願に際しては，あらかじめ志望する教育研究分野の指導教員に問い合わせてください。問い合わせ先の電話番号，Eメールアドレスは入学案内（23 ページ以降）を参照してください。

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者。

なお、社会人特別入試については、本大学院医歯学総合研究科入学時に既に就業しているか、又は入学後に就業することが見込まれる者で、入学後も引き続き職業を有し、次の各号のいずれかに該当するもの。

また、外国人留学生特別入試については、日本の国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するもの。

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者及び平成 26 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者（医学、歯学又は獣医学を履修した者に限る。）及び平成 26 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 18 年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び平成 26 年 3 月までに修了見込みの者（20 ページ参照）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び平成 26 年 3 月までに修了見込みの者（20 ページ参照）
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 26 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（11 ページの注を参照）
- (7) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院（医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程（当該課程に係る研究科の基礎となる学部の修業年限が 6 年であるものに限る。）又は獣医学を履修する博士課程に限る。）に入学した者であって、当該者をその後に本学の医歯学総合研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの（21 ページ参照）
- (8) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を平成 26 年 3 月までに 4 年以上在学した者で、又は外国において学校教育における 16 年の課程（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了若しくは平成 26 年 3 月までに修了見込みの者で、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの（22 ページ参照）
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 26 年 3 月 31 日までに 24 歳に達するもの（22 ページ参照）

注 「2. 出願資格の(6)」の「文部科学大臣の指定した者」とは、次のいずれかに該当するものです。

- ① 旧大学令(大正7年勅令第388号)による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ② 防衛庁設置法(昭和29年法律第164号)による防衛医科大学校を卒業した者
- ③ 修士課程又は学校教育法(昭和22年法律第26号)第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者(学位規則の一部を改正する省令(昭和49年文部省令第29号)による改正前の学位規則(昭和28年文部省令第9号)第6条第1号に該当する者を含む。)で本研究科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの(20ページ参照)
- ④ 大学(医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を除く。)を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの(21ページ参照)

※ 「2. 出願資格の(3), (4)及び(6)～(9)」に該当する者については、あらかじめ出願資格の確認を行いますので、19ページの「Ⅲ. 出願資格の確認」に従って確認を受けてください。

ただし、「2. 出願資格の(6)」の注①又は②に該当する者は、出願資格の確認は必要ありません。

3. 出願期間及び出願書類等提出先

(1) 出願期間

第1次募集	平成25年7月22日(月)～7月25日(木) 【必着】
第2次募集	平成25年11月11日(月)～11月14日(木) 【必着】
第3次募集	平成26年1月14日(火)～1月16日(木) 【必着】

持参する場合の受付時間は、午前8時30分から午後5時までとします。
郵送する場合は、必ず「書留速達」としてください。

(2) 出願書類等提出先

- 分子細胞医学専攻, 生体機能調節医学専攻, 地域疾病制御医学専攻
〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医歯学系総務課医学科学務係
電話 (025)227-2017

- 口腔生命科学専攻
〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地
新潟大学医歯学系歯学部事務室学務係
電話 (025)227-2798・2799

4. 出願書類等

志願者は、下記の出願書類等を取りそろえ、出願期間中に直接持参又は書留速達郵便にて郵送してください。

(1) 全員が提出するもの

出願書類等	摘 要
<ul style="list-style-type: none"> ・入学志願票 ①・受験票 ・写真票 	<p>本要項に添付の所定用紙を使用してください。</p> <p>記入にあたっては志願票記載の注意事項に留意してください。</p> <p>なお、「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実にはってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ② 検定料 <p>30,000円</p>	<p>本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。</p> <p>① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>② 検定料の振込みは、下記の期間内に必ず行ってください。 （※土・日曜日・祝日の振込みは、できません。）</p> <p>第1次募集 平成25年7月16日（火）から7月25日（木） [15時00分]</p> <p>第2次募集 平成25年11月5日（火）から11月14日（木） [15時00分]</p> <p>第3次募集 平成26年1月6日（月）から1月16日（木） [15時00分]</p> <p>③ ATM（現金自動預入払機）での振込みはできません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ③ 検定料納付証明書（新潟大学提出用） 	<p>金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を志願票の所定欄にはってください。</p> <p>（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>

<p>④ 卒業（見込） 証明書又は学位授与証明書</p>	<p>出身大学の学長（学部長）又は出身学校の学校長が作成したものとします。ただし、学位記（卒業証書）の写しで代えることができます。出願資格(2)に該当する者は、学位授与証明書を提出してください。</p> <p>本学医学部及び歯学部卒業（見込み）者は、提出する必要はありません。</p>
<p>⑤ 返信用封筒 3枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学試験関係書類在中 ・合格通知書在中 ・入学手続書類在中 	<p>本要項に添付の返信用封筒3枚を提出してください。</p> <p>封筒の表には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。</p> <p>「入学試験関係書類在中」封筒には郵便切手350円分をはってください。</p> <p>「合格通知書在中」封筒及び「入学手続書類在中」封筒には郵便切手をはる必要はありません。</p>

(2) 該当する者が提出するもの

(なお、出願資格確認の際に提出した書類については、再度提出する必要はありません。)

<p>⑥ 大学院修士課程 修了（見込）証 明書</p>	<p>大学院研究科修士課程修了（見込み）者のみ提出してください。出身大学院の研究科長が作成したものとします。ただし、学位記の写しで代えることができます。</p>
<p>⑦ 大学院修士課程 成績証明書</p>	<p>大学院研究科修士課程修了（見込み）者のみ提出してください。</p>
<p>⑧ 研究概要 (社会人特別入試 出願者のみ)</p>	<p>大学卒業後に行った医学又は歯学に関する研究があれば、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。（様式は適宜）</p> <p>※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。</p>
<p>⑨ 臨床経験概要 (社会人特別入試 出願者のみ)</p>	<p>大学卒業後の臨床経験がある者は、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。（様式は適宜）</p> <p>※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。</p>
<p>⑩ 受験承諾書 (社会人特別入試 出願者のみ)</p>	<p>出願時に在職中の者は、本要項に添付の様式による書面に、所属長の公印で承諾されたものを提出してください。</p>
<p>⑪ 住民票 (外国人留学生特 別入試出願者のみ)</p>	<p>市区町村長が発行する、在留資格が記載されたものを提出してください。できない場合は、旅券（パスポート）の写しを提出してください。</p>
<p>⑫ 戸籍謄本等 (外国人留学生特 別入試出願者のみ)</p>	<p>出身国の公的機関が発行する戸籍謄本若しくは市民籍等居住証明書又は旅券（パスポート）の写しを提出してください。</p>

5. 入学者の選抜方法等

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）及び出願書類等により行います。
入学者選抜の判定は、当該試験等の結果を総合して行います。

(1) 一般入試

学力検査の日時及び試験内容

○ 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
第1次募集 平成25年8月20日（火）	10:00～11:15	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
第2次募集 平成25年12月12日（木）	13:00～14:30	専 門 科 目 （第一志望の教育研究分野から出題）
第3次募集 平成26年2月6日（木）	15:00～16:30	専 門 科 目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1）希望により，平成9年以降，新潟大学大学院医学研究科外国語試験（英語）合格者については，上記外国語（英語）を免除します。免除を希望する者は，出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2）専門科目の試験方法は，①筆記，②口述，③筆記及び口述，のいずれか1つになります。

注3）辞書については，電子辞書及び医学辞書（辞典）は不可とします。

○ 口腔生命科学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
第1次募集 平成25年8月20日（火）	13:00～14:30	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
第2次募集 平成25年12月12日（木）		
第3次募集 平成26年2月6日（木）	15:00～	口 述 試 験 （志願する教育研究分野から出題）

注）辞書については，電子辞書，医学辞書（辞典）及び歯学辞書（辞典）は不可とします。

(2) 社会人特別入試

学力検査の日時及び試験内容

○ 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
第1次募集 平成25年8月20日（火）	10:00～11:15	小 論 文
第2次募集 平成25年12月12日（木）	13:00～15:00	口 述 試 験 （志願する教育研究分野を中心とし， 併せて外国語の学力も試験します。）
第3次募集 平成26年2月6日（木）		

○ 口腔生命科学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
第 1 次募集 平成 25 年 8 月 20 日 (火)	13:00~15:00	口 述 試 験 (志願する教育研究分野を中心とし、 併せて外国語の学力も試験します。)
第 2 次募集 平成 25 年 12 月 12 日 (木)		
第 3 次募集 平成 26 年 2 月 6 日 (木)		

(3) 外国人留学生特別入試

学力検査の日時及び試験内容

○ 分子細胞医学専攻, 生体機能調節医学専攻, 地域疾病制御医学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
第 1 次募集 平成 25 年 8 月 20 日 (火)	10:00~11:15	外国語 (英語) (辞書持ち込み可)
	11:30~12:45	外国語 (日本語)
第 2 次募集 平成 25 年 12 月 12 日 (木)	13:00~14:30	専 門 科 目 (第一志望の教育研究分野から出題)
第 3 次募集 平成 26 年 2 月 6 日 (木)		

注 1) 専門科目の試験方法は, ①筆記, ②口述, ③筆記及び口述, のいずれか 1 つになります。

注 2) 辞書については, 電子辞書及び医学辞書 (辞典) は不可とします。

○ 口腔生命科学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
第 1 次募集 平成 25 年 8 月 20 日 (火)	13:00~15:00	口 述 試 験 (志願する教育研究分野を中心とし、 併せて外国語の学力も試験します。)
第 2 次募集 平成 25 年 12 月 12 日 (木)		
第 3 次募集 平成 26 年 2 月 6 日 (木)		

6. 試 験 場

○ 分子細胞医学専攻, 生体機能調節医学専攻, 地域疾病制御医学専攻
新潟大学医学部 (新潟市中央区旭町通 1 番町 757 番地)

○ 口腔生命科学専攻
新潟大学歯学部 (新潟市中央区学校町通 2 番町 5274 番地)

7. 合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者の発表

- 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻

第1次募集	平成25年9月12日（木）午前10時	医学科受付前
第2次募集	平成26年1月10日（金）午前10時	医学科受付前
第3次募集	平成26年3月13日（木）午前10時	医学科受付前

- 口腔生命科学専攻

第1次募集	平成25年9月12日（木）午前10時	歯学部正面玄関前
第2次募集	平成26年1月10日（金）午前10時	歯学部正面玄関前
第3次募集	平成26年3月13日（木）午前10時	歯学部正面玄関前

上記日時に合格者の受験番号を掲示により発表します。

また，発表と同時に，合格者へは郵送により合格通知書等を送付します。

なお，合否に関しての電話等による問い合わせには，一切応じません。

(2) 入学手続

入学手続の概要は，次のとおりです。詳細については，合格者に別途通知します。

① 入学手続期間

第1次募集	平成26年2月28日（金）から3月4日（火）
第2次募集	
第3次募集	平成26年3月24日（月）から3月25日（火）

② 入学に要する経費

- 入 学 料 **282,000 円（予定額）**

（注1） 入学金免除希望者は，入学手続時に入学金を納付しないでください。

（注2） 入学金等，10万円を超える現金を振込む際には，金融機関の窓口において，振込みを行う者の本人確認書類（運転免許証，健康保険証，パスポート，在留カード等）の提示が必要となります。本人確認書類の提示がない場合には，現金による振込みができませんので，注意してください。

8. 授業料

年額 535,800円（前期分 267,900円，後期分 267,900円）〔予定額〕

（注1） 授業料は，入学後，口座引き落としにより納入していただく予定です。

（注2） 授業料の納入方法の詳細については，合格者に別途通知します。

（注3） 在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

9. その他

出願書類等提出後は、記載事項の変更は認めません。

また、既納の検定料及び提出された出願書類等は返還しません。

ただし、検定料振込み後、出願期間内に出願書類等を提出しなかった場合は、当該検定料（30,000円）を返還します。

詳細は、本学ホームページ（<http://www.niigata-u.ac.jp/>）の「入学を希望するみなさんへ」→「納付済検定料返還手続」を参照してください。

なお、請求書の郵送を希望される方は、財務部資産管理課支出係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地
新潟大学財務部資産管理課支出係
電話（025）262-6054

Ⅲ. 出 願 資 格 の 確 認

「2. 出願資格の(3), (4)及び(6)～(9)」に該当する者については、必ず下記「5 提出先」へ電話連絡の上、次により出願資格の確認を受けてから出願してください。

ただし、「2. 出願資格の(6)」の注①又は②に該当する者は、出願資格の確認は必要ありません。

なお、事前連絡なく出願があった場合は、受理できない場合があります。

1 提出書類等

次ページ以降の「各出願資格について」を参照してください。

なお、外国語で作成された書類には、日本語の訳文を必ず添付してください。

2 提出方法

出願資格の審査書類は、持参（午前8時30分から午後5時までの、土曜日、日曜日及び祝日を除く。）または、郵送により送付してください。

3 提出期限

平成 25 年 10 月入学	平成 25 年 6 月 28 日（金）【必着】
平成 26 年 4 月入学 （第 1 次募集）	
平成 26 年 4 月入学 （第 2 次募集）	平成 25 年 10 月 24 日（木）【必着】
平成 26 年 4 月入学 （第 3 次募集）	平成 25 年 12 月 20 日（金）【必着】

4 出願資格審査結果の通知

出願資格審査の結果は、出願期間開始前までに、本人あて郵送により通知します。出願資格を認定された申請者は、出願手続を行ってください。

5 提出先

○ **分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻**
〒951-8510 新潟市中央区旭町通 1 番町 757 番地
新潟大学医歯学系総務課医学科学務係
電話 (025)227-2017

○ **口腔生命科学専攻**
〒951-8514 新潟市中央区学校町通 2 番町 5274 番地
新潟大学医歯学系歯学部事務室学務係
電話 (025)227-2798・2799

○各出願資格について

1. 「出願資格（3），（4）」により出願する場合の，審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 出願資格確認用履歴書	
③ 卒業（修了）証明書又は 卒業（修了）見込証明書	最終出身大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。
④ 成績証明書	
⑤ 研究業績調書及び 研究経過報告書	大学等卒業（修了）後に医療機関，研究機関等における業績・研究等がある場合は，本要項に添付の所定用紙により，詳細に記入してください。
⑥ 住民票（外国人留学生 特別入試出願者のみ）	市区町村長が発行したもの（在留資格が記載されたもの）を提出してください。
⑦ 戸籍謄本等	出身国の公的機関が発行する戸籍謄本若しくは市民籍等居住証明書又はパスポートの写しを提出してください。
⑧ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所，氏名，郵便番号を明記し，郵便切手360円分をはってください。

※ ③，④については，本物（オリジナル）を提出し，必ず和訳文を添付してください。

2. 「出願資格（6）の注③」により出願する場合の，審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 修了（見込）証明書	出身（在学）大学院の研究科長が発行したものを提出してください。
③ 成績証明書	出身（在学）大学院の研究科長が発行したものを提出してください。
④ 研究業績調書及び 研究経過報告書	大学等卒業（修了）後に医療機関，研究機関等における業績・研究等がある場合は，本要項に添付の所定用紙により，詳細に記入してください。
⑤ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所，氏名，郵便番号を明記し，郵便切手360円分をはってください。

3. 「出願資格（6）の注④」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 卒業（修了）証明書	最終出身大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。
③ 成績証明書	
④ 研究業績調書及び研究経過報告書	本要項に添付の所定用紙により、大学等卒業（修了）後に医療機関、研究機関等における業績・研究等がある場合は、詳細に記入してください。 なお、論文又は研究発表等がある場合は、コピー又は別刷を添付してください。
⑤ 臨床経験証明書及び職務内容証明書	臨床経験がある場合のみ提出してください。（様式任意）
⑥ 住民票（外国人留学生特別入試出願者のみ）	市区町村長が発行したもの（在留資格が記載されたもの）を提出してください。
⑦ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手360円分をはってください。

4. 「出願資格（7）」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 成績証明書	出身大学の学長（学部長）及び在学大学院の研究科長が発行したものを提出してください。
③ 在学証明書	在学大学院の研究科長が発行したものを提出してください。 なお、本学大学院在学者は不要です。
④ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手360円分をはってください。

5. 「出願資格（8）」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 在学証明書	現在も在学中の者のみ、在学大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。 なお、本学在学者は不要です。
③ 成績証明書	在学（出身）大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。
④ 研究業績調書及び 研究経過報告書	業績・研究等がある場合は、本要項に添付の所定用紙により提出してください。
⑤ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手360円分をはってください。

※ 本出願資格で入学する者は、当該大学の学部を退学することになります。従って種々の国家試験等の受験資格で大学の学部を卒業することを要件としているものについては、受験資格が得られないこととなります。

6. 「出願資格（9）」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 卒業（修了）証明書	最終出身学校長が発行したものとします。短期大学又は高等専門学校の専攻科等の修了者は、短期大学又は高等専門学校の卒業証明書と専攻科等の修了証明書を提出してください。
③ 成績証明書	最終出身学校長が発行したものとします。短期大学又は高等専門学校の専攻科等の修了者は、短期大学又は高等専門学校の成績証明書と専攻科等の成績証明書を提出してください。
④ 研究業績調書及び 研究経過報告書	学校等卒業（修了）後に医療機関、研究機関等における業績・研究等（短期大学又は高等専門学校の専攻科等の修了者は、専攻科等における業績、研究状況等を含む。）がある場合は、本要項の所定用紙により、詳細に記入してください。 なお、論文又は研究発表等がある場合は、コピー又は別刷を添付してください。
⑤ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手360円分をはってください。

V. 新潟大学大学院医歯学総合研究科入学案内

1. 組織及び教育研究内容

注1. Telは「025（市外局番）-227（局番）」の表記を、e-mailは「niigata-u.ac.jp」の表記を省略しています。（分子細胞医学専攻の連携大学院を除く。）

注2. ※の指導教員は兼任を示します。

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
分子細胞医学	遺伝子制御	分子生物学	未定 Tel 2082 e-mail	<ul style="list-style-type: none"> リンパ腫発症に関する遺伝子群の単離・同定 聴覚平衡感覚障害マウスのゲノム解析 染色体・ゲノムの構造と機能
		分子・診断病理学	※ 味岡洋一 Tel 2093 e-mail ajioka@med.	<ul style="list-style-type: none"> 消化管癌、胆道癌及び膵癌の形態・分子病理学 炎症性腸疾患・消化性潰瘍・胃炎の発生・進展に関する形態・分子病理学 炎症性発癌のメカニズムに関する研究 外科病理診断学、画像診断のための病理学
		腫瘍放射線医学	青山英史 Tel 2315 e-mail h-aoyama@med.	<ul style="list-style-type: none"> 高精放射線治療法による予後・QOL改善に関する研究 画像と病理所見の対比による画像診断に関する研究 画像診断手技を用いた種々の治療法に関する研究 放射線障害の早期診断と予防に関する研究
		生殖器官制御	榎本隆之 Tel 2317 e-mail enomoto@med.	<ul style="list-style-type: none"> 卵巣癌の遺伝子診断・新規原因遺伝子の同定 婦人科癌・子宮内膜症の分子生物学的研究 生活習慣病の発症・予防に関する分子生物学的解析
		肝臓病学	※ 青柳豊 Tel 2202 e-mail aoy@med.	<ul style="list-style-type: none"> 肝臓腫瘍マーカーに関する研究 肝臓の病態生理に関する研究 ウイルス性肝炎に関する研究 悪性腫瘍における糖鎖変異解析
		腫瘍外科学	※ 若井俊文 Tel 2223 e-mail wakait@med.	<ul style="list-style-type: none"> 腫瘍外科学に関する研究 早期DNA損傷修復機構に関する研究 抗癌剤耐性機序および抗癌剤増感作用に関する研究 プロテオーム解析を用いたがん分子生物学
		分子薬理学	※ 樋口宗史 Tel 2092 e-mail hhiguchi@med.	<ul style="list-style-type: none"> 薬物による遺伝子転写制御の研究 記憶・神経分化に関わる神経遺伝子転写制御の研究 遺伝子転写制御因子の神経伝達物質受容体による調節
		分子精神医学	※ 染矢俊幸 Tel 2209 e-mail psy@med.	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患の分子遺伝学 精神疾患の分子生物学
		腫瘍学	西條康夫 Tel 025-368-9003 e-mail yasosj@med.	<ul style="list-style-type: none"> 腫瘍内科学一般 がん薬物療法、特に分子標的治療に関する研究 幹細胞と臓器再生に関する研究
	シグナル伝達	分子細胞機能学	五十嵐道弘 Tel 2083 e-mail tarokaja@med.	<ul style="list-style-type: none"> 神経成長とシナプス形成に關与する分子間相互作用の解析 プロテオグリカンによる神経再生の研究 神経成長円錐の機能に関する細胞生物学 開口分泌と小胞輸送の分子機構の研究
		薬理学	樋口宗史 Tel 2092 e-mail hhiguchi@med.	<ul style="list-style-type: none"> 高次中枢機能（感情・依存・摂食）における神経ペプチドの役割 神経ペプチド、神経栄養因子受容体の分子薬理学 循環器系作用薬の分子作用機序に関する研究
		分子腫瘍学	※ 高橋公太 Tel 2284 e-mail kota@med.	<ul style="list-style-type: none"> 泌尿生殖器腫瘍一般 泌尿生殖器腫瘍の基礎と分子生物学 泌尿生殖器腫瘍の治療 <ul style="list-style-type: none"> a 化学療法 b 免疫療法 c 手術療法と尿路再建

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
分子細胞医学	細胞機能	顕微解剖学	牛木辰男 Tel 2058 e-mail t-ushiki@med.	<ul style="list-style-type: none"> 走査電子顕微鏡による生体組織構造解析 走査プローブ顕微鏡による細胞イメージング 細胞と組織の細胞生物学的・形態学的機能解析
		分子細胞病理学	未定 Tel 2102 e-mail	<ul style="list-style-type: none"> マクロファージの発生分化機構と生体防御 動脈硬化症の病理 核内受容体の病理 造血器の病理
		消化器内科学	青柳豊 Tel 2202 e-mail aoy@med.	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス性肝炎に関する研究 肝癌の病態生理に関する研究 肝疾患の免疫に関する研究 消化管腫瘍の病態に関する研究 炎症性腸疾患に関する研究 ヘリコバクター・ピロリ関連胃病変に関する研究
		皮膚科学	伊藤雅章 Tel 2282 e-mail itom@med.	<ul style="list-style-type: none"> 毛組織関連遺伝子発現の研究 皮膚電子顕微鏡学 皮膚遺伝性疾患の研究 皮膚アレルギー疾患の研究 OASアレルギーの同定 5-hmC機能の解析
		生殖医学病態解析	※榎本隆之 Tel 2317 e-mail enomoto@med.	<ul style="list-style-type: none"> 不育症と同種免疫 各種生殖異常と主要組織適合抗原系 男性不妊，顕微授精
		分子・病態病理学	味岡洋一 Tel 2093 e-mail ajioka@med.	<ul style="list-style-type: none"> 消化管癌の細胞機能解析 消化器癌の細胞粘液形質と組織発生・生物学的悪性度の解析
		生殖医学病態解析	高桑好一 Tel 2320 e-mail obgy@med.	<ul style="list-style-type: none"> 不育症と同種免疫 生殖異常と自己免疫異常 妊娠高血圧症候群の病態と免疫異常 生殖異常と遺伝子多型
	分子情報医学	細胞神経生物学	崎村建司 Tel 0619 e-mail sakimura@bri.	<ul style="list-style-type: none"> 発生工学を用いた脳機能解析モデル動物の作成 脳高次機能の分子基盤解析 シナプス伝達機構の分子機序 グルタミン酸受容体の分子生物学 神経疾患病態モデルマウスの作成と解析
		分子神経生物学	那波宏之 Tel 0613 e-mail hnawa@bri.	<ul style="list-style-type: none"> 神経栄養因子・サイトカインの脳神経作用の解析 ニューロンでの細胞内シグナル伝達機序の解明 脳神経細胞の発達可塑性と分子メカニズムの研究 発達性精神疾患のモデル動物の評価・分析 新規の抗精神病薬の開発とその評価
		分子神経病理学	未定 Tel 0642 e-mail	<ul style="list-style-type: none"> 分子神経病理学 脳腫瘍学，がん抑制遺伝子 脳特異蛋白の研究
		神経内科学	西澤正豊 Tel 0663 e-mail nishi@bri.	<ul style="list-style-type: none"> 臨床神経学の研究 脳血管障害の病態と治療に関する研究 神経変性疾患の分子病態の解明と治療法の開発 免疫性神経疾患の病態と治療に関する研究 神経筋疾患の病態と治療に関する研究
		脳神経外科学	藤井幸彦 Tel 0650 e-mail yfujii@bri.	<ul style="list-style-type: none"> 脳腫瘍の病態・治療の研究 脳血管障害の病態・治療の研究 機能的脳疾患の病態・治療の研究 ヒト高次脳機能の研究 ヒト脳皮質再構築の研究
		発生・生殖工学	笹岡俊邦 Tel 2163 e-mail	<ul style="list-style-type: none"> 実験動物の生殖工学・発生工学技術の体系化 ヒト疾患モデル動物の開発・改良に関する研究 実験動物における胚・配偶子の凍結保存に関する研究 マウスの卵巣移植と凍結保存に関する研究 マウス胚バンクにおける基盤技術の開発

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容	
分子細胞医学	分子情報医学	神経病因遺伝学	池内 健 Tel 2343 e-mail ikeuchi@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・アルツハイマー病のバイオマーカー研究 ・アルツハイマー病の関連遺伝子の同定 ・家族性アルツハイマー病の病態と治療研究 ・認知症の分子病態研究 	
		神経病態学	小野寺 理 Tel 0684 e-mail onodera@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・運動神経病, 運動失調症, 認知症, パーキンソン病の病態に基づく治療法の研究 ・神経血管ユニットのヒト病態への関与の研究 ・臨床, 病理, 分子病態の融合的研究 	
	連携大学院 (客員教授)	先端分子病態学		田中 啓二 Tel 03-5316-3337 e-mail tanaka-kj@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 <ul style="list-style-type: none"> ・細胞内タンパク質分解機構に関する分子から個体レベルに至る包括的研究 ・ユビキチン代謝系とその異常によって発症する疾病の機構解明 ・プロテアソームの構造と分子及び生理に関する研究、特にガン、神経変性、免疫の基礎と病態研究
				未定	(公財) 東京都医学総合研究所 <ul style="list-style-type: none"> ・哺乳類遺伝学を基盤とした難聴等感覚器疾患の発症機構の解明 ・ヒト疾患モデルマウスの樹立と個体レベルでの機能解析
				村上 誠 Tel 03-5316-3228 e-mail murakami-mk@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい創薬の標的分子固定をめざした脂質メディアーターの生合成経路とその調整機構に関する包括的基盤研究 ・脂質代謝異常をキーワードとしたアレルギー、免疫疾患、肥満、神経疾患、皮膚疾患、癌、不妊症等の分子病態生物学
				池田 和隆 Tel 03-6834-2390 e-mail ikeda-kz@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 <ul style="list-style-type: none"> ・依存症のゲノム解析、行動薬理学的解析、臨床応用研究 ・疼痛脆弱性および鎮痛薬感受性のゲノム解析、行動薬理学的解析、テーラーメイド医療への応用 ・自閉症、AD/HDなどの発達障害の行動薬理学的、分子生物学的研究 ・快・不快情動の分子メカニズム研究
				吉川 欣亮 Tel 03-5316-3311 e-mail kikkawa-ys@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 <ul style="list-style-type: none"> ・哺乳類遺伝学を基盤とした視聴覚疾患の発症に関する遺伝子群の同定 ・ヒト疾患モデルマウスの樹立による個体レベルでの疾患発症機構の解明
				星 英司 Tel 03-6834-2373 e-mail hoshi-ej@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 <ul style="list-style-type: none"> ・霊長類動物(サル)を用いたシステム神経科学 ・行動制御を支える前頭葉、大脳基底核、小脳の構造と機能 ・脳基底核疾患と小脳疾患の病態生理機構
				林 雅晴 Tel 03-6834-2334 e-mail hayashi-ms@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 <ul style="list-style-type: none"> ・急性脳炎・脳症、自閉症スペクトラム、難治てんかん、遺伝性DNA損傷修復障害などの脳発達障害に関する病理組織、生体試料を用いた臨床神経病理学的解析
				内原 俊記 Tel 03-6834-2341 e-mail uchihara-ts@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 <ul style="list-style-type: none"> ・パーキンソン病やアルツハイマー病等のヒト神経疾患脳にみられる病変の解析 ・分子からみる脳病変のなりたち ・脳病変からみる臨床症状のなりたち ・脳病変の特徴をふまえた早期診断法の開発 ・病変をよりよくとらえる新たな観察手法の開発 ・脳および脳病変の三次元再構築像の解析
	鎌田 正 e-mail t_kamada@nirs.go.jp	(独) 放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院 <ul style="list-style-type: none"> ・重粒子線治療法の確立に関する研究 			

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
生体機能調節医学	内部環境医学	腎・膠原病内科学	成田 一 衛 Tel 2192 e-mail naritai@med.	<ul style="list-style-type: none"> 腎疾患・高血圧・糖尿病に関する研究 リウマチ・膠原病疾患に関する研究
		呼吸器内科学	※ 成田 一 衛 Tel 2192 e-mail naritai@med.	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸器疾患に関する研究 呼吸器感染症に関する研究 心身医学に関する研究 悪性腫瘍に関する研究
		小児科学	齋藤 昭彦 Tel 2222 e-mail asaitoh@med.	<ul style="list-style-type: none"> 新生児・未熟児の発達生理に関する研究 小児腎疾患に関する研究 小児各種疾患の病態に関する研究 分子生物学的研究（悪性腫瘍、循環器、腎、内分泌）
		基礎体液生理学	※ 日比野 浩 Tel 2071 e-mail hibinoh@med.	<ul style="list-style-type: none"> 視床下部・下垂体系による体液調節の液性・神経性連関 内耳の内リンパ液に関する研究
		内分泌・代謝学	※ 曾根 博 仁 Tel 2182 e-mail sone@med.	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病、脂質異常症、高血圧、肥満等の代謝疾患（生活習慣病）ならびにそれらの動脈硬化疾患を含む合併症の成因・診断・治療に関する研究 各種内分泌疾患の成因・診断・治療に関する研究
		総合診療医学	未 定 Tel 0849 e-mail	<ul style="list-style-type: none"> 全人的医療の実践に関する研究 卒前医学教育・卒後臨床研修・後期専門研修・生涯医学教育の一貫性に関する研究 多職種連携・チーム医療に関する研究 Common Diseases、プライマリ・ケアに関する研究
		臨床免疫学	中 田 光 Tel 0847 e-mail radical@med.	<ul style="list-style-type: none"> 次世代シーケンスによる抗GM-CSF自己抗体の産生機序に関する研究 抗GM-CSF自己抗体の医薬への応用
		緩和医療学	※ 西 條 康 夫 Tel 025-368-9003 e-mail yasosj@med.	<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアにおける身体的症状緩和に関する研究 緩和医療で使用されるオピオイドを中心とした鎮痛薬の研究 がん診断時から緩和ケアを実践するための体制整備に関する研究
	器官制御医学	循環器学	南 野 徹 Tel 2182 e-mail tminamino@med.	<ul style="list-style-type: none"> 動脈硬化の分子生物・細胞分化の研究 不整脈の病態と治療に関する研究 心筋炎の発症と進展に関する研究 各種心疾患の臨床病態の解明に関する研究 心血管系の老化と再生医学の研究
		呼吸循環外科学	土 田 正 則 Tel 2240 e-mail masatsu@med.	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸器外科・腫瘍学 心臓外科 血管外科 人工臓器・抗血栓治療 心肺及び組織移植
		麻酔科学	馬 場 洋 Tel 2323 e-mail baba@med.	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔薬の作用メカニズム 急性痛のメカニズムと術中術後疼痛管理 神経障害性疼痛のメカニズムと治療法 臨床神経生理・神経薬理（術中神経系モニタリング） 臨床呼吸循環生理（術中呼吸循環モニタリング）
		救命救急医学	遠 藤 裕 Tel 2337 e-mail endoh@med.	<ul style="list-style-type: none"> 救急医療体制に関する研究 集中治療に関する研究 生体モニタリングに関する研究
		病理形態学	※ 未 定 Tel 2102 e-mail	<ul style="list-style-type: none"> 免疫組織化学と病理診断 超微形態の病理

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
生体機能調節医学	機能再建医学	肉眼解剖学	佐藤 昇 Tel 2045 e-mail nsato@med.	<ul style="list-style-type: none"> 末梢神経系の形態形成 神経細胞の生死決定機構の解析 生体への遺伝子導入と多光子イメージング 細胞内タンパク分解系に関する研究 比較形態形成学と進化
		基礎応用器官生理学	日比野 浩 Tel 2071 e-mail hibinoh@med.	<ul style="list-style-type: none"> 聴覚機能における内耳内リンパ液の生理的役割と病態との関連の解析
		消化器・一般外科学	若井 俊文 Tel 2223 e-mail wakait@med.	<ul style="list-style-type: none"> 消化管外科 肝臓・胆道・膵臓外科 乳腺外科 甲状腺・副甲状腺外科 肝臓・膵臓・小腸移植 外科代謝・栄養学
		整形外科学	遠藤 直人 Tel 2269 e-mail endless@med.	<ul style="list-style-type: none"> 運動器の修復・再生に関する研究 骨・関節のバイオメカニクスの研究 脊椎・脊髄疾患の病態と治療の研究 手の外科の研究 骨・軟部腫瘍の研究 関節リウマチの病態と治療の研究 運動器リハビリテーションとQOLの研究 骨粗鬆症 四肢/脊椎・脊髄外傷とその修復に関する研究
		小児外科学	窪田 正幸 Tel 2254 e-mail mkubota@med.	<ul style="list-style-type: none"> 新生児外科 小児固形悪性腫瘍の集学的治療 小児の外科代謝・栄養 小児肝・胆道外科 小児鏡視下手術 消化管運動異常の神経生理学的研究 高頻度磁気刺激法を用いた神経調節の研究
		腎・泌尿器病態学	高橋 公太 Tel 2284 e-mail kota@med.	<ul style="list-style-type: none"> 腎の構造と機能 泌尿器科学一般 腎移植と腎機能再建 免疫学と免疫抑制療法 尿器生理学と神経学 尿路形成手術・泌尿器科内視鏡学 泌尿器科的内分泌 アンドロロジー
		血液学	曾根 博仁 Tel 2182 e-mail sone@med.	<ul style="list-style-type: none"> 同種造血幹細胞移植に関わる移植免疫、幹細胞学の研究 造血細胞の分化と白血病の病態に関する研究 リンパ増殖性疾患の病態と治療開発に関する研究 血栓止血・血管生物学に関する研究
		消化器病態修復学	※ 青柳 豊 Tel 2202 e-mail aoy@med.	<ul style="list-style-type: none"> 肝移植の病態・再生に関する研究 肝類洞壁細胞の機能と形態 胆膵悪性疾患の遺伝子診断
	感覚統合医学	神経生物・解剖学	竹林 浩秀 Tel 2053 e-mail takebaya@med.	<ul style="list-style-type: none"> 神経系の発生および生後発達に関する研究 神経幹細胞の維持・分化制御に関する研究 高次脳機能発現の基盤となる神経回路の解析 モデル動物を用いた神経変性疾患の病態と治療に関する研究
		神経生理学	長谷川 功 Tel 2064 e-mail isaohasegawa@med.	<ul style="list-style-type: none"> 視覚イメージ生成の脳メカニズム 脳高次機能の霊長類動物モデル ブレイン-マシン-インターフェイス

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
生体機能調節医学	感覚統合医学	精神医学	染 矢 俊 幸 Tel 2209 e-mail psy@med.	<ul style="list-style-type: none"> 臨床精神薬理学 精神疾患の分子遺伝学 Neuroimaging 発達精神医学 分子神経生物学 精神科診断学 臨床心理・心理教育 リエゾン精神医学
		視覚病態学	福 地 健 郎 Tel 2293 e-mail tfuku@med.	<ul style="list-style-type: none"> 緑内障の病態解明と治療法の開発に関する研究 眼球運動の生理学と病態に関する研究 眼科手術学とレーザー治療に関する研究 眼感染症と化学療法, 眼薬理学 眼病理学 神経眼科学 小児眼科学 臨床視覚電気生理学 眼内血管新生の抑制に関する研究
		耳鼻咽喉科学	高 橋 姿 Tel 2303 e-mail sugata@med.	<ul style="list-style-type: none"> 神経耳科学 側頭骨外科学 鼻科学 口腔咽頭科学 音声言語学 頭頸部外科学 頭蓋底外科学 咽頭・気管・食道科学
		機能画像医学	※ 青 山 英 史 Tel 2315 e-mail h-aoyama@med.	<ul style="list-style-type: none"> ポジトロンCTを用いた脳機能画像診断の研究 PET・SPECTによる神経受容体イメージング研究 脳血流のSPECTによる画像診断と定量法の研究 機能画像診断学
	腎科学	構造病理学	山 本 格 Tel 2151 e-mail tdsymmt@med.	<ul style="list-style-type: none"> ヒトの全タンパク質（プロテオーム）の解析 腎臓と尿のプロテオミクス 腎臓プロテオームのバイオインフォマティクス ヒト腎臓病の病因と病態解析の分子病理学 腎糸球体上皮細胞の細胞生物学 実験腎炎の病態解析の免疫病理学, 分子生物学
		機能制御学	未 定 Tel 2156 e-mail	<ul style="list-style-type: none"> 微小循環系の機能制御機構 糸球体硬化病変の成因 腎糸球体構成細胞の細胞生物学
		分子病態学	河 内 裕 Tel 2159 e-mail kawachi@med.	<ul style="list-style-type: none"> 腎糸球体の発生・分化の分子機構の解明 糸球体血管壁のバリアー機構の解明 腎病変発症・進展機序に関する研究 腎病変の新規治療法開発に向けた基礎研究
	可塑性機能制御	システム脳生理学	澁 木 克 栄 Tel 0625 e-mail shibuki@bri.	<ul style="list-style-type: none"> 脳機能の光イメージング 経験依存的可塑性 シナプス可塑性
		神経病理学	高 橋 均 Tel 0633 e-mail hitoshi@bri.	<ul style="list-style-type: none"> 神経変性疾患（アルツハイマー病, パーキンソン病, 筋萎縮性側索硬化症など）の病理学 脳発生のメカニズムとその異常（神経細胞移動障害, てんかん, 統合失調症など） 神経疾患の分子・細胞病理学 脳腫瘍外科病理診断学
		脳機能解析学	中 田 力 Tel 0677 e-mail tnakada@bri.	<ul style="list-style-type: none"> 機能画像法を用いたヒト脳機能の研究 高分解画像を用いたヒト脳の微細構造の研究 偏微分方程式を用いたヒト脳機能の研究
		生体磁気共鳴学	五 十 嵐 博 中 Tel 0676 e-mail higara@bri.	<ul style="list-style-type: none"> 核磁気共鳴法を用いた脳の水動態の研究 磁気共鳴分光法を用いた脳代謝の研究 超変極磁気共鳴分光法の生体応用

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
生体機能調節医学	可塑性機能制御	脳病態病理学	柿田 明美 Tel 0673 e-mail kakita@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・剖検による脳神経疾患の臨床病理学的研究 ・標本資源を用いた神経精神疾患の病態病理学的研究 ・脳腫瘍やてんかん原生脳病巣の病態病理学的研究 ・神経変性疾患や免疫性神経疾患の病態病理学的研究 ・発生発達期脳障害の病態病理学的研究
		形成・再建外科学	柴田 実 Tel 2591 e-mail mshibata@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・微小外科の研究 ・四肢再建外科の研究 ・頭頸部再建の研究 ・末梢神経再生の研究 ・顎顔面外科の研究 ・唇裂・口蓋裂の研究 ・胸壁・乳房再建の研究 ・同種組織移植の研究
地域疾病制御医学	国際感染医学	ウイルス学	藤井 雅寛 Tel 2115 e-mail fujiimas@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・HTLV-1による成人T細胞白血病の発症機構 ・成人T細胞白血病における白血病幹細胞に関する研究 ・成人T細胞白血病に対する治療薬に関する研究 ・ウイルスに対する宿主応答の分子機構
		免疫学・医動物学	未定 Tel 2133 e-mail	<ul style="list-style-type: none"> ・T及びNK細胞の分化の研究 ・腫瘍免疫に関与する胸腺外分化T細胞の研究 ・自己免疫疾患の免疫システムの研究 ・アレルギー反応を調節する免疫系の研究 ・移植免疫の基礎的研究 ・造血幹細胞の研究 ・免疫系の自律神経支配に関する研究
		細菌学	未定 Tel 2050 e-mail	<ul style="list-style-type: none"> ・生物テロ対策、院内感染対策に関する基礎研究 ・新興・再興細菌感染症の診断、治療、予防の基礎研究 ・病原菌の感染機構と薬剤耐性の解析 ・粘膜予防ワクチンの開発 ・新薬デザインと開発
		国際保健学	齋藤 玲子 Tel 2129 e-mail jasmine@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザウイルスの分子疫学的解析・薬剤耐性(国内・海外) ・呼吸器ウイルス性感染症の分子疫学と予防に関する研究 ・途上国における感染症研究 ・GIS(地図情報システム)の感染症への応用 ・GISを使った福島県放射能分布地図 ・GISの保健医療への応用(国内・海外) ・国際保健
		臨床感染制御学	※ 成田 一衛 Tel 2192 e-mail naritai@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床感染症に関する研究 ・HIVの治療に関する研究 ・免疫不全と感染症に関する研究
		国際消化器感染病学	※ 青柳 豊 Tel 2202 e-mail aoy@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器疾患の内視鏡学的研究 ・ヘリコバクター・ピロリ関連胃病変に関する研究 ・感染性腸炎に関する研究 ・消化性腫瘍に関する研究
		トランスレーショナルリサーチ	中田 光 Tel 0847 e-mail radical@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代再生医療技術の開発(培養法・品質管理・保存技術) ・リンパ脈管筋腫症に対する分子標的療法の開発 ・続発性肺胞蛋白症の発症機序に関する研究
		地域予防医学	社会・環境医学	中村 和利 Tel 2124 e-mail kazun@med.

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
地域 疾病 制御 医学	地域予防医学	法医学	山内 春夫 Tel 2141 e-mail daba@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・法医病理学 ・死後画像診断による死因と個人識別 ・賠償医学, 特に人体損傷の客観的評価 ・子供の虐待とネグレクト ・GIS (地図情報システム) の法医学への応用 ・生命倫理・医療倫理・医療社会学
		予防医療学	未定 Tel 2331 e-mail	<ul style="list-style-type: none"> ・動脈硬化症原因解明のための細胞工学的研究 ・タンパク質立体構造のコンピュータ解析 ・生命シミュレーションモデルの構築 ・予防に寄与する検査法の開発 ・遺伝子診断
		健康増進医学	※ 齋藤 玲子 Tel 2129 e-mail jasmine@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療の評価 ・地域保健 (地域における包括的公衆衛生対策) ・生活習慣病の疫学と対策 ・健康政策学
		小児保健学	※ 齋藤 昭彦 Tel 2222 e-mail asaitoh@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・小児生活習慣病に関する研究
		リハビリテーション医学	※ 遠藤 直人 Tel 2269 e-mail endless@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションに関する研究 ・生活設計, 生活支援に関する研究 ・スポーツ医学に関する研究
	総合医療評価学	情報科学・統計学	赤澤 宏平 Tel 2471 e-mail akazawa@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床試験の研究デザインと統計解析方法 ・生物統計学の理論と解析事例の研究 ・病院経営分析手法の開発 ・医学におけるシミュレーション技法の開発 ・遺伝子情報の解析研究
			佐藤 博 Tel 2782 e-mail hnmrsato@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物投与設計 (オーダーメイドの薬物治療を含む) ・臨床試験 (治験を含む) ・薬剤経済学 ・薬物治療とリスクマネジメント (副作用及び有害事象を含む) ・ドラッグデリバリーシステムと薬効

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
口腔生命科学	口腔健康科学	微生物感染症学	寺尾 豊 Tel 2838 e-mail terao@dent.	各種細菌の病原因子を分子レベルで解析し、感染症の病態形成の解明に繋がる研究を展開する。また、次世代イメージング機器を用いた感染現象の解析に基づく感染制御法の考案を目指す。
		生体組織再生工学	泉 健次 Tel 2816 e-mail izumik@dent.	口腔粘膜組織培養の基盤技術を応用し、基礎医学生物学から臨床応用・患者治療に直結する口腔の再生医療を担うトランスレーショナルな教育研究と、チタンを中心とした生体用金属の金属学的性質、生体適合性、生体反応の解析、チタン鑄造体の表面性状と表面改質法及び鑄造欠陥の発生機構に関する教育研究を行う。
		う蝕学	興地 隆史 Tel 2863 e-mail t-okiji@dent.	う蝕、歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患の病態と治療法を追究する。特に、免疫学的・細菌学的病因論、修復・再生機構、生体材料の物性と生体適合性、ならびに先端的治療法の開発評価に関する教育研究を行う。
		予防歯学	宮崎 秀夫 Tel 2856 e-mail hideomiy@dent.	「口腔保健医療に対応した国際イニシャチブ人材育成プログラム」の構築に向けた教育課程を試行する。幼児・小児期のう蝕予防、成人の歯周病予防、高齢期の根面う蝕予防モデルの確立、疾患の発生前診断、地域診断、口腔健康と全身健康との因果関係について解明する。また、口臭症の基礎的、臨床的教育研究を行う。
		小児歯科学	早崎 治明 Tel 2908 e-mail hayasaki@dent.	臨床的な視点から、1) 小児の顎口腔機能(摂食、咀嚼、嚥下、呼吸、発声など)とその成長発育、2) 歯磨きの動作等、基礎的な視点から、1) 乳歯由来のiPS細胞を用いた再生医療、2) 歯の形成障害に関する遺伝子、を中心として小児歯科・障がい者歯科に関わる教育研究を行う。
		生体歯科補綴学	魚島 勝美 Tel 2997 e-mail fish@dent.	デンタルインプラントの治療成績向上、確実な骨増成法の確立、歯根膜の再生、力と生体反応の関係解明、歯科金属アレルギーの疫学的調査などを目的として、歯科補綴学に関連する生体変化の生物学的背景について教育研究する。
		顎顔面口腔外科学	高木 律男 Tel 2883 e-mail takagi@dent.	顎顔面口腔領域に発生する腫瘍・嚢胞・奇形・変形症及び特殊臓器である顎関節、唾液腺の疾患などを対象に、予防法、診断法並びに治療法、その予後等について教育研究する。
	摂食環境制御学	口腔解剖学	前田 健康 Tel 2815 e-mail maedat@dent.	人体の顎口腔諸器官の正常な形態、構造、発生過程に関して肉眼解剖学的、顕微解剖学(組織学)的、微細構造学的立場から、細胞生物学的側面、臨床的な観点を重視した教育研究を行う。
		口腔生理学	山村 健介 Tel 2821 e-mail yamamura@dent.	咀嚼・嚥下機能、発話機能、表情機能を動作学的に検討し、四肢運動の神経機構と比較考察し、それぞれの運動を制御している末梢性及び中枢性神経機構について教育研究を行う。
		歯科矯正学	齋藤 功 Tel 2902 e-mail isao@dent.	各種不正咬合の原因、診断、治療法に関する基本事項について教育するとともに、骨格性および歯性の不正咬合の成立機序について考察し、矯正学的対処法と治療による形態的・機能的変化について教育研究を行う。
		摂食・嚥下リハビリテーション学	井上 誠 Tel 0733 e-mail inoue@dent.	加齢や各疾病に伴う摂食・嚥下機能障害を追求し、それぞれの病態解明とともに、診断・治療法について教育研究を行う。嚥下障害、味覚障害・口腔乾燥症に関わる生理学・生化学をベースとした基礎ならびに診断・治療法に関する臨床的教育研究を行う。
		歯周診断・再建学	吉江 弘正 Tel 2869 e-mail yoshie@dent.	口腔二大疾患の一つである歯周病における免疫遺伝子学的・分子生物学的な新しい診断法を開発し、高度先進的な歯周組織再生・再建治療法、最新の治療評価系に関する教育研究を行う。

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
口腔生命科学	顎顔面再建学	硬組織形態学	大島 勇人 Tel 2812 e-mail histoman@dent.	歯や骨などの硬組織の形成・発達・維持・再生現象等に関する制御機構を解明するため、硬組織の構造と機能を肉眼レベルから組織・細胞レベルさらに発生生物学的観点から形態学的手法を用いて教育研究する。
		口腔生化学	織田 公光 Tel 2827 e-mail oda@dent.	硬組織（骨，歯）に関連した先天性代謝異常疾患の原因遺伝子及びその突然変異について教育研究する。特に，遺伝子の変異とそれに随伴する疾患の発症機序に焦点を当てる。その他翻訳後のタンパク質の細胞内局在化機構について。
		包括歯科補綴学	野村 修一 Tel 2889 e-mail nomura@dent.	歯及び顎骨の欠損で喪失した咬合を補綴装置により再構成して，顎口腔系の機能と形態を回復，維持するための学理及び治療法について教育研究するとともに，超高齢社会における口腔健康管理の意義を究明する。
		口腔病理学	朔 敬 Tel 2832 e-mail tsaku@dent.	口腔領域に発生する各種疾患の病理発生機序を解明するため，分子病理学的立場から，病態研究方法の導入法並びに思考方法について教育研究する。
		組織再建口腔外科学	小林 正治 Tel 2877 e-mail tadaharu@dent.	顎顔面口腔領域に発生する病変の診断・治療に関する教育研究を行うとともに，顎顔面口腔領域の先天異常，顎変形症などの発育異常，及び腫瘍切除後の組織欠損などに対する形態的，機能的回復に関連する組織の再生・再建ならびにその評価法について教育研究を行う。
		顎顔面放射線学	林 孝文 Tel 2914 e-mail hayashi@dent.	最新の歯科診療技術の展開にとって必須となる，顎顔面口腔領域の正常画像解剖やこの領域に発生する様々な疾患の画像診断に関して，それらの精度向上を目指したCT・MRI・超音波診断・核医学などの先端技術の開発・普及について追究し，教育を行う。
		歯科麻酔学	瀬尾 憲司 Tel 2972 e-mail seo@dent.	三叉神経損傷などによる慢性疼痛発生や痛覚過敏のメカニズムについて，電気生理学的，光学的，免疫組織学的，さらには生化学的方法を応用して分析する。さらに新しい治療法の開発についても研究する。
		歯科基礎移植・再生学	川瀬 知之 Tel 2927 e-mail kawase@dent.	新しい口腔内組織の再生技術確立を目標として，再生医療の基本概念である「細胞・足場・増殖因子」の各要素について，基礎生物学的・材料学的観点から臨床応用を視野に入れた教育研究を行う。

2. 履修方法及び学位授与

- (1) 指導教員の指導の下に、授業科目等を定め、30 単位以上を原則として3年次末までに修得しなければなりません。単位履修の認定は、試験又は研究報告等により行います。

〈分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻〉

- ① 専攻共通科目 6 単位以上（講義 2 単位，演習 2 科目 4 単位以上）
- ② 専攻個別科目 20 単位以上
- ③ 他専攻科目 4 単位以上

〈口腔生命科学専攻〉

専攻共通科目 9 単位（必修科目 5 単位，選択必修科目 4 単位以上）以上を含む合計 30 単位以上

- (2) 本研究科に4年以上在学し、所定の単位を修得しさらに独創的な研究に基づく学位論文を提出して、その審査に合格し、かつ、学位論文を中心とする最終試験に合格した者に博士（医学）、博士（歯学）又は博士（学術）の学位を授与します。

3. 入学料免除

新潟大学に入学する学生で下記のいずれかに該当し、願い出た者について、選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

- (1) 経済的理由により、入学料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- (2) 入学前1年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者
- (3) 上記に準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

4. 授業料免除等

新潟大学の学生で、授業料の納付が困難な者について、授業料を免除する制度があります。

下記のいずれかに該当し、各期ごとに願い出た者について、選考の上、決定されます。

- (1) 経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 授業料の当該期の納期前6か月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）又は納期中に、学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合
- (3) 上記に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

5. 奨学金制度

日本学生支援機構には、学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため就学困難であると認められる者に対し、奨学金を貸与する制度があります。その貸与月額は、下記のとおりです。

この奨学金は、本人の申請に基づき、学業成績、研究能力及び家族の経済的事情を審査し、選考の上、適格者を日本学生支援機構に推薦し、決定されるものです。

貸与月額（平成 25 年度の場合）

第一種 80,000 円, 122,000 円から選択

第二種 5 万円, 8 万円, 10 万円, 13 万円, 15 万円から選択

6. 学研災付帯学生生活総合保険

この制度は、学生生活全般に補償範囲を拡大したもので、感染予防費用（針刺し時に講じた予防措置費用の健康保健等の自己負担分）や、損害賠償金（学生生活において偶然に発生した自己により他人にケガをさせたり、財物等を損壊して支払わなければならない賠償金）にも対応可能な補償内容となっております。詳細については、後日合格者に送付する「入学案内」で周知します。

7. 大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 14 条に定める教育方法の特例について

社会人が大学院博士課程で学ぶ場合、現在の職業を退職あるいは休職でもしない限り大学院に入学し所定の単位を修得し、学位を取得することは困難であります。

そこで、本大学院医歯学総合研究科では、このような社会人に対し、大学院設置基準第 14 条「大学院の課程においては教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」という規定を導入して教育方法の特例を実施することとしました。

この特例により、社会人学生は、それぞれのテーマに応じ、指導教員と協議の上、通常の時間帯における授業のほか、夜間その他特定の時間又は時期における授業による単位修得の便宜を受けるとともに研究を継続させ、博士論文を作成することになります。特例を受けようとする者は、入学後、研究科長に特例適用の申請を行わなければなりません。

8. 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、入学者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。

また、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。